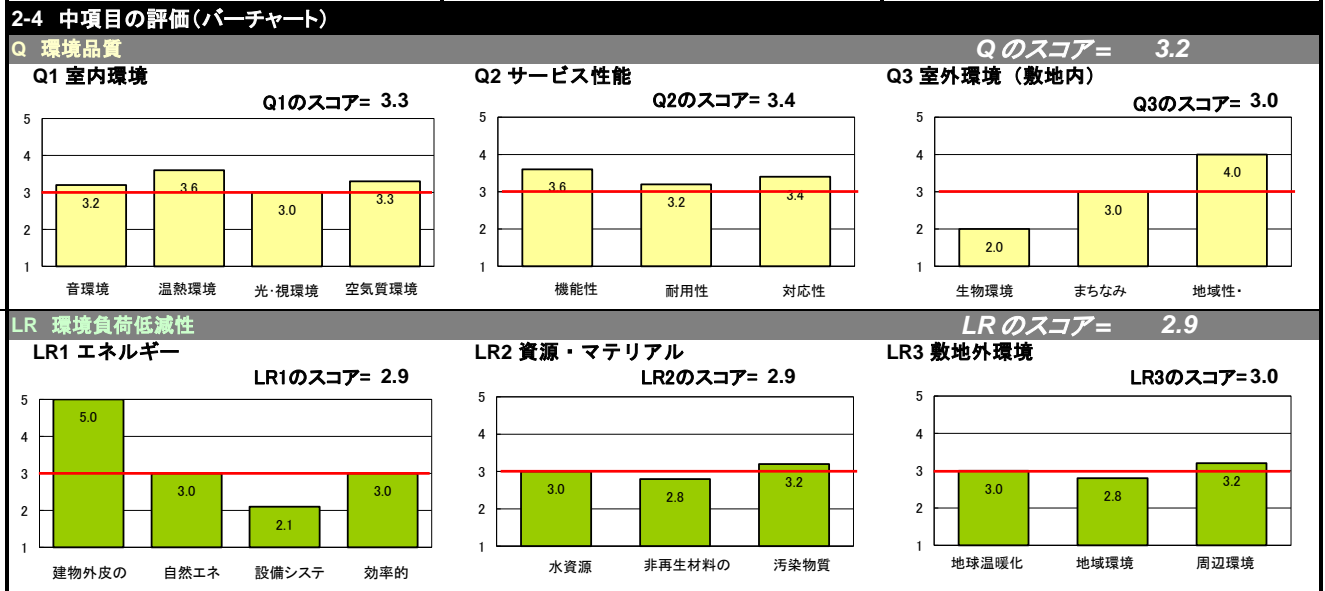
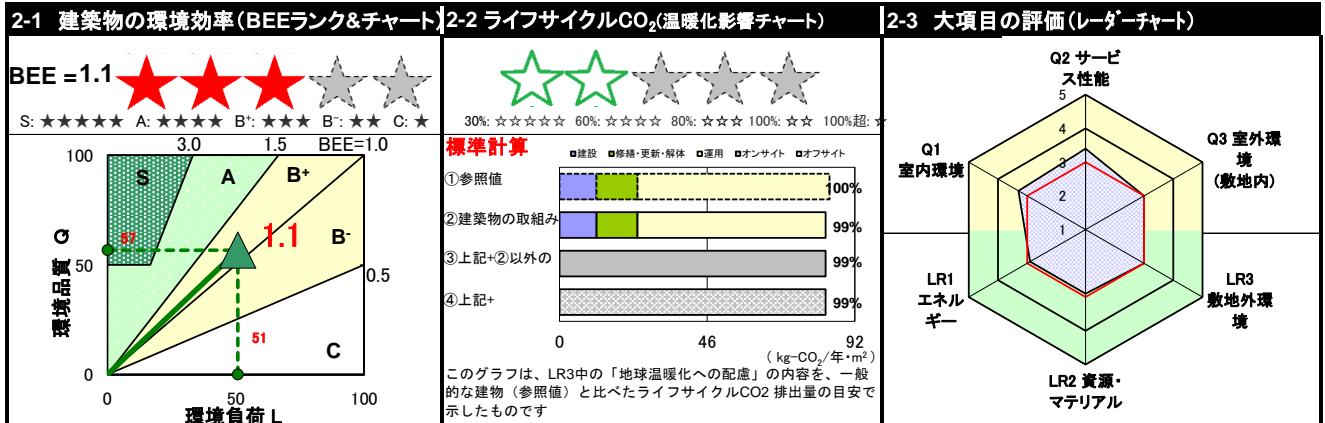


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シマノ自転車博物館プロジェクト	階数	地上5階
建設地	大阪府堺市堺区南向陽町2丁43-1,4	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2020年10月20日
敷地面積	2,940 m ²	作成者	山口 志之
建築面積	1,700 m ²	確認日	2020年10月20日
延床面積	4,048 m ²	確認者	山口 志之

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・4階部分にオープントラスを設け、自然と緑を感じられる豊かな空間としている。 ・LED照明などにより省エネルギーに配慮している。 ・免震構造を採用している。 	0
Q1 室内環境 ・複層ガラスを採用し、温熱環境に配慮している。	Q2 サービス性能 ・免震構造を採用している。
Q3 室外環境(敷地内) ・オープントラスを設けることによって建物内にも緑を取り入れる計画としている。	
LR1 エネルギー ・多方向へ開口部を設け、自然採光、自然換気を取り入れた計画としている。	LR2 資源・マテリアル ・既存の建築躯体を土留めに再利用している。
	LR3 敷地外環境 ・周辺環境に調和した植栽計画、照明計画を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	シマノ自転車博物館プロジェクト	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区南向陽町2丁43-1,43-4,44-1,44-2,45-1,48,49-1	1.1	B+
	主用途/延床面積	集会所 / 4,048.26 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
エネルギー削減	2	● ● ● ● ●
建物の断熱性	5	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.0	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.1	2
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	2.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	